

第6学年家庭科学習指導案

1 題材名 クリーン大作戦「めざせ！そうじの達人」

2 題材について

本題材は、学習指導要領「B 衣食住の生活」の(6)快適な住まい方 ア(イ)住まいの整理・整頓や清掃の仕方に、「A 家族・家庭生活」の(2)家庭生活と仕事及び「C 消費生活・環境」の(2)環境に配慮した生活に関連させて設定している。この題材では、気持ちよく生活するために、住まいの清掃が必要であることがわかり、清掃の仕方を理解し、適切な清掃の仕方を考え、工夫して掃除ができるようになることをねらいとしている。

題材を通して、「そうじの達人をめざす」というテーマを掲げ、指導していく。学校や家庭での体験を基に普段の掃除について振り返らせ、生活していく上で何のために掃除が必要なのかを考えさせるとともに、汚れの種類や汚れ方に応じた掃除の仕方を理解した上で適切に、そして工夫して掃除ができるようにする。題材を通して、学習の過程を1枚にまとめたワークシートを活用し、見通しをもつことができるようにした。毎時間の自己評価や振り返りを1枚にまとめることで、自分の成長を感じたり達成感を味わったりすることができることを考えた。

指導の流れとしては、まず毎日掃除を行っている校舎内の汚れウォッチングに取り組ませる。掃除をしても毎日汚れること、意識していない場所は汚れやごみが蓄積していくことに気付かせるとともに、どこにどんな汚れがあるのか、なぜ汚れるのかを話し合うことで、清掃の必要性について考えさせる。さらに、児童それぞれの家庭でも「汚れウォッチング」に取り組ませ、学校での汚れ方との共通点や相違点を考えながら、掃除してみたい場所の実践計画を立てていく。その際、どうしたら「達人」を目指せるかを児童の願いを基に考えさせ、予め学級全体での観点を決めておく。それを基に、各自に必要な道具や手順などの計画を立て、家庭での実践に取り組ませる。ギガタブの撮影機能を使って実践前後の状態や掃除の様子等を写真や動画で残し、結果や考察をまとめるツールとして「発表ノート」を活用する。写真を入れたり文字を打ったりする欄を事前に作ったテンプレートを児童に配付し、写真や動画を挿入したり文字を打ち込んだりするだけで簡単にまとめることができるようにする。

本時の指導では、児童がそれぞれ家庭で実践してきたことを、グループや学級全体で共有する。まず、掃除した汚れの種類が同じ児童同士でグループを作り、一人ずつ実践報告をする。全員の報告が終わったところで、どの掃除方法や道具がよいと思ったか、どの工夫がよかったかなど、事前に決めた「達人」の観点をもとに比較しながら自分たちで評価をする。そして、グループで話し合いながらどの掃除がおすすめできるかを考え、ギガタブのJamBoardを使って全体に紹介する。「おすすめの掃除方法をみんなに紹介する」というめあてをしっかりとめさせておくことで、対話が活性化し、相互の学びを深める時間となると考える。話し合うことで同じ汚れでも異なる掃除の仕方があることや、他の汚れに対する掃除方法を児童同士で知ることができる。さらに家庭と学校の実践を連携させて取り組ませることで、今後の家庭生活に生かしていこうとする意欲が高まることを期待している。

3 題材の目標

- 汚れの種類や場所に合った清掃の仕方を理解し、状況に応じて適切に清掃することができる。
(知識及び技能)
- 住まいの清掃について問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
(思考力、判断力、表現力等)
- 課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って評価・改善したりして、自分の住生活を整えていこうとする。
(学びに向かう力、人間性等)

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○汚れの種類や場所に合った清掃の仕方を理解している。 ○状況に応じて適切に清掃することができる。	○住まいの清掃の仕方について問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考えて計画を立てることができる。 ○実践を評価・改善したり、考えたことを表現したりして、課題を解決する力を身に付けている。	○家族の一員として、自らの住生活をよりよくしようと課題解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

5 指導と評価の計画

時数	小題材	○学習内容 ◆評価
1・2	なぜそうじをするのだろう 学校にはどのようなよごれがあるだろう	○掃除の必要性を考える。(安全・健康・快適の3つの視点から) ○題材を通した学習のめあてを確認し、学習計画を立てる。 そうじの達人になろう! ○学校内の汚れウォッチングを行い、汚れの種類や特徴を考え、生活の仕方や掃除の仕方を見直す。 ◆場所によって汚れの特徴や原因が異なること、それに合った掃除の仕方や使う用具があることを理解する。(知・技) ◆住まいの掃除の必要性に気づき、掃除の仕方について問題を見出し、課題解決に向けた見通しをもっている。(思・判・表)
課外 (家庭)	家庭にはどのようなよごれがあるだろう	○家庭内の汚れウォッチングを行い、汚れの種類や特徴を考え、生活の仕方や掃除の仕方を見直す。
3・4	どうしたらきれいになるだろう	○家庭内の汚れウォッチングで気づいたことや家族が行っている掃除の工夫などを話し合い、共有する。 ○汚れ方や汚れの種類、特徴、使う掃除用具の共通点や相違点を、学校と家庭を比較して考える。 ○掃除してみたい場所の掃除の仕方について、資料や本、インターネット等を

		<p>活用して調べ、掃除の計画を立てる。</p> <p>◆場所や汚れに適した掃除用具の使い方や掃除の手順、ポイントがわかる。 (知・技)</p> <p>◆住まいの清掃の仕方について解決方法を考え、実践に向けた計画を工夫して立てている。 (思・判・表)</p>
課外 (家庭)	身の回りを快適にしよう①	<p>○計画をもとに、家庭で掃除を行う。</p> <p>○実践した掃除について記録を取り、発表資料を作成する。</p>
5 ★本時	実践を紹介しよう	<p>○掃除した汚れごとにグループを組んで自分の実践を紹介し、「達人」の観点をもとにおすすめ度を伝え合う。</p> <p>○グループ内で、一人一人のよかった工夫や改善すべきところなどを話し合いながら、JamBoardにまとめる。</p> <p>○場所や汚れの種類に合わせた掃除の仕方について、実践の結果を学級全体で共有する。</p> <p>◆清掃の仕方についての課題解決に向けた一連の活動を振り返って考えたことを表現し、評価・改善することを通してよりよい掃除について考えている。 (思・判・表)</p> <p>◆自らの住生活をよりよくしようと、清掃の仕方について考えたことをもとに実践に生かそうとしている。 (主体的態度)</p>
課外 (家庭)	身の回りを快適にしよう②	<p>○前時に共有した内容をもとに、同じ汚れに対して別の方法を試したり、別の汚れの掃除を試したりする。</p>
6	学校をきれいにする計画を立てよう	<p>○初めに行った学校内の汚れウォッチングを振り返り、家庭での実践をもとに学校をきれいにするための掃除計画を立てる。</p> <p>◆清掃の仕方について実践に向けた計画を考え、工夫している。(思・判・表)</p> <p>◆課題の解決に向けて、学習したことを生かして解決しようとしている。 (主体的態度)</p>
課外 (学校)	学校をきれいにしよう	<p>○計画をもとに、学校内の掃除を行う。※清掃活動の時間(15分間)</p> <p>◆状況に応じて適切に清掃することができる。(知・技)</p> <p>◆課題の解決に向けて、学習したことを生かして工夫して実践しようとしている。 (主体的態度)</p>

6 本時の指導(5/6時間)

(1) 本時の目標

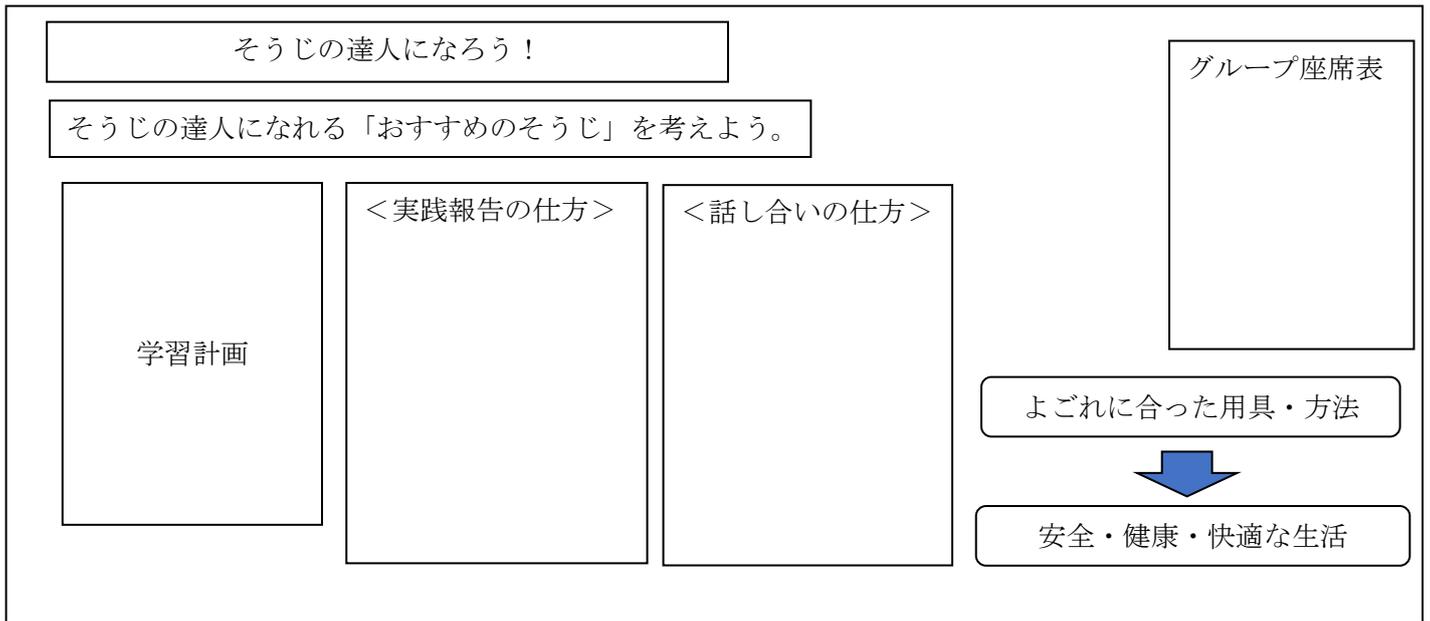
- ・清掃の仕方についての課題解決に向けた一連の活動を振り返って考えたことを表現し、評価・改善することを通してよりよい掃除について考えている。
(思・判・表)
- ・自らの住生活をよりよくしようと、清掃の仕方について考えたことをもとに実践に生かそうとしている。
(主体的態度)

(2) 本時の展開

時配	児童の活動	教師の指導○と評価◆	資料・教具
3	1 家庭での実践ができたかどうかを確認し、本時の学習問題を確認する。	○実践を紹介し合い、友達に「おすすめする」という話し合いの目的をしっかりとらせ、次の実践に生かすことを確認する。	ギガタブ テレビ
12	そうじの達人になれる「おすすめのそうじ」を考えよう。		
	2 同じ汚れの掃除をしたグループで、実践を報告し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>＜実践報告の仕方＞</p> <p>①一人目が、発表ノートにあらかじめまとめた実践報告を提示する。工夫したところやよくできたところ、うまくいかなかったところなどについて写真や動画を見せながら紹介し、観点ごとにおすすめ度を伝える。</p> <p>②他の児童から質問があれば答える。</p> <p>③実践報告を聞いた人は、自分の実践評価シートに評価を記入する。</p> <p>※①②③を順に全員行う</p> </div>	○前時に児童と決めた「達人ポイント（①効率的②環境配慮③効果的）」を掲示し、自分や友達の実践を評価したり友達にアドバイスをしたりするときにそれらの観点から話せるようにする。 ○発表の流れ（左記）を掲示し、全体で確認する。 ○「ただ聞くだけ」にならないように、実践評価シートを使って友達の実践を評価し、達人の観点ごとにグループ内で比較できるようにする。 ○発表に使うギガタブはグループで1台にして他のギガタブはしまわせ、集中して発表を聞けるようにする。	掲示資料 ギガタブ （グループで1台） ・発表ノート ・JamBoard
13	3 実践をもとにグループで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>＜話し合いの仕方＞</p> <p>①観点ごとに、どの実践がよいと思ったかを、実践評価シートと発表ノートを見ながら話し合う。</p> <p>②話し合ったことをもとに、おすすめの道具や方法、よい工夫などを、観点ごとに JamBoard にまとめる。</p> </div>	○発表ノートで、グループの実践報告を並べて1つの画面に表示することで、比較して話し合えるようにする。 ○共同作業ができるように JamBoard を活用し、他のグループがどのようにまとめているかを随時見て参考にできるように1つのファイル内で作業させる。 ○JamBoard でのまとめ方の例を事前に見せ、ファイル内にも載せておく。 ○家庭科専科がT2としてグループを回り、話し合いが円滑に進むよう支援する。 ◆清掃の仕方についての課題解決に向	

10	<p>4 実践したことを全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの代表者が前に出て、話し合ったことを紹介する。 	<p>けた一連の活動を振り返って考えたことを表現し、評価・改善することを通してよりよい掃除について考えている。(思・判・表)</p> <p>○集中して聴けるよう、ギガタブは一度閉じるよう声をかける。</p> <p>○グループ代表の児童が立つ側のテレビにはJamBoardを繋いで映し、もう1台のテレビにはそのグループの発表ノートを並べて提示し、児童の説明していることに合わせて教員が操作して示しながら補足をしていく。</p>	テレビ2台 ポインター
5	<p>5 今日の振り返りをワークシート「ステップ7」に各自記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と同じ汚れを掃除した友達と話し合ったり、他のよごれの掃除をした友達の実践を聞いたりして考えたことを書く。 	<p>○掃除を比較して考えたことや、新たにやってみたいと思ったことなどについて数人指名して聞く。</p> <p>◆自らの住生活をよりよくしようと、清掃の仕方について考えたことをもとに実践に生かそうとしている。 (主体的態度)</p>	ワークシート
2	<p>6 全体で今日の活動を振り返り、まとめる。</p>	<p>よごれに合った用具や方法を考えてそうじをすると、安全・健康・快適な生活につながる。</p>	
		<p>○同じよごれに対してもいろいろな掃除方法があることや、よごれに合った用具や方法で掃除をすることが大切であることをおさえる。</p>	

<板書計画>



<実践評価シート>

めざせ!そうじの達人
名前()

★友達の実践を評価してみよう。

メンバー	効率的	環境配りよ	効果的
自分	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
さん	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
さん	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
さん	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
さん	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆

・効率的…短い時間でできる、簡単にできる、道具が用意しやすい等
 ・環境配りよ…洗剤、水、電気など、必要な量を考えて使っている
 (使いすぎでない)、出るゴミが少ない、身近なものを再利用している等
 ・効果的…よごれを落とすことができた、効果があった